

2020年度 大学院授業評価アンケート

文学研究科・人間社会研究科

◆この授業はどのような形式でしたか。

教員の講義を中心とする形式	21.0%
学生の発表を中心とする形式	25.0%
ディスカッション、対話による指導を中心とする形式	42.0%
以上を複合した形式	13.0%

履修者	97
回答者	35
回答率	36.1%

◆授業評価アンケート

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. シラバスはわかりやすかった。	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
2. 授業のために十分な予習、復習を行った。	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%	0.0%
3. 授業には意欲的、積極的に取り組んだ。	62.9%	37.1%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 授業、研究指導は自身の研究の遂行に役立った。	71.4%	22.9%	5.7%	0.0%	0.0%
5. 全体として授業、研究指導に満足している。	71.4%	25.7%	2.9%	0.0%	0.0%
6. その他、教員から指示された設問があれば回答してください。	—	—	—	—	—

	オンデマンド型	双方向型	対面型	オンデマンド型 +双方向型	その他
7. この授業の内容に対して、どの手法が一番相応しいと思いますか？	0.0%	26.3%	26.3%	31.6%	15.8%

◆意見や要望（研究設備・研究環境・研究支援等を含む）

<p>・毎回、非常に丁寧にみてください、いただくアドバイスはとても勉強になっている。 研究発表前等には、お忙しい中、1週間のうちに何度もご助言をいただき、大変ありがたかった。</p> <p>・対面であれば、すぐその場で訂正したり、説明を加えたりすることもできただろうと思うこともあったが、現在の自分自身にとって、文章で伝えることを訓練することは非常に重要だと思うため、この1年を通し今の私に必要なご指導をいただいていると大変感謝している。</p> <p>・前期は受入れがなく、後期から受講させていただきました。院での授業は初めの上、Zoomを使った授業は私には慣れないものでしたので、ついていくのに必死でした。先生には、PC技術の不足など基礎的なことでもご迷惑をおかけしたかと思えます。院生の方々の発表を聞くことは、勉強になりました。私自身の発表も、精一杯でしたがこれからの必要な良い経験になったと思えます。</p>
--

◆授業改善に関する報告

<p>肯定的な意見ばかりであり、授業全般について、ほぼ満足したという評価であったと判断できる。</p>
